

あけぼの愛育保育園

新型コロナウイルス感染への方針第3段(2020, 3, 24 現在)

【原則として開所をつづけます】

- * 今後、北九州市役所から通知などあった場合は、それに準じた体制となります。
- * 国・厚労省・市などの方針に則った上で、園として最善の状況判断をいたします。
- * 家庭で保育可能であれば、できるだけ家庭での保育をお願いします。

※最新の感染の状況や国の方針などを参照して、あらためて通知します。

今のところ、入園式(入園説明会)は実施の予定です。当初の計画通り園児一人につきご家族 一名の参加といたします。

- * 園での保育がご心配な場合も、家庭で保育して下さい。
- * 園が感染拡大の拠点にならないように努めます。

【感染予防を徹底します。】

園に入る際には、子ども・保護者・職員・納入業者など、すべて手指の消毒をしていただいています。

業者を含め、来園者には玄関での検温を実施、記録しています。

園児は登園前(職員は出勤前)に体温や健康状態をチェックしてもらいます。

咳や発熱(37.5 度以上)がある場合は、園への立ち入りを禁止します。保護者の方々も最大限にご協力下さい。

しかし、不可抗力によって感染源(クラスター／小規模な感染集団)になることもあり得ます。

- もし園児が感染した場合（検査で陽性あるいは明らかな症状）

濃厚接触をしたと考えられる児童・職員には自宅待機を要請します。
感染した園児が使用した部屋や玩具などは消毒処理をし、一定期間使用禁止にします。
- もし職員が感染した場合（検査で陽性あるいは明らかな症状）

保育業務の規模を縮小する場合があります。保育は医療関係者の子どもを優先し、その他の方には家庭での保育をお願いする場合があります。
給食調理が不可能になった場合は、昼食は家庭からのお弁当になる場合があります。
- 感染源（クラスター／小規模な感染集団）になる恐れが出たらただちに休園となります（おおむね 2 週間程度）
- * 休園期間中は、早期再開にむけて努力します。
 - 施設の消毒
 - 園児および家族の健康状況把握
 - 職員および家族の健康状況把握
 - 周辺地域の感染状況把握
- 園医や各種専門機関と、より綿密な連携体制をとります。・社会福祉施設としての役割を果たしますが、原則として医療・福祉関係者を最大限優先して支援します。

以上